

連携医院のご紹介

今回は、地域の患者さんを総合的に診ることを大切にされておられる 竹内医院の竹内真院長、竹内由紀副院長です。



竹内真院長と竹内由紀副院長

竹内医院

〒734-0004
広島市南区宇品神田4丁目7-8
電話/082-251-2321
院長/竹内真
診療科目/内科・消化器内科



○いつ開業されましたか。

元々、祖父が昭和24年に竹内病院という外科病院を開業し、父が2代目として後を継ぎました。私は東京で消化器内科、特に肝臓を専門として勤務していましたが、平成6年の夏から竹内病院に戻りました。平成10年より院長になり、平成13年には無床診療所に変更した後、翌年に建物を新築し、現在に至っています。

○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

患者さんの話を十分に聞き、診察し、正しい診断を行なった上で、治療をする様、患者さん一人一人に対して心掛けています。また、症状が軽快しない場合は、必ず再診して頂くか、他の医療機関を受診される事を、患者さんにはお願いしています。

○開業医のやりがいは何ですか。

一般内科の開業医として、患者さんに気軽に不安なく受診していただける医療機関を目指しています。患者さんから「安心した」「ここへ来て良かった」と言っていたり、御家族・友人を紹介していただいたりす

ると、とても嬉しく感じます。

○県病院はどんなところですか。

なくてはならない存在ですね。自分の力ではできないことには限りがあります。力の及ばない部分を安心して任せられる。県病院は以前から多様性があり、最近は柔軟性も加わってきたと感じます。患者さんの紹介を通して、紹介先の県病院の医師を知ることができ、連携も深まっています。



竹内医院外観

【取材後記】

院長は笑顔で診察時間が長めという表現をされていましたが、副院長からは病気のことでなく患者さんのお話をよく傾聴され、家族背景までよくご存知であるとお聞きました。介護保険の利用が必要な患者さんには、院長が直接関係機関と調整されるなど病気だけでなく患者さんを総合的に生活も含めてみておられることがよくわかりました。

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

Contents

- QCPRキャラバン1位
- 活躍しています!! 入院サポートナース
- 県病の星(慢性心不全看護認定看護師)
- 外科医の独り言(サルノ尻)
- 病院ボランティアさん表彰式
- 連携医院のご紹介(竹内医院)

QCPRキャラバン 1位



臨床救急医学会とレールダルメディカルジャパンの共催により開催されたQCPRキャラバンにおいて、当院のチームが初出場で初優勝しました。

QCPRキャラバンとは【質の高いCPR(心肺蘇生)の啓蒙】を目的とした活動で、5人一組のチームで15分間の胸骨圧迫と換気をいかに正確に行うかを全国から参加したチームが競う大会です。今回は全国30都道府県の38チーム(病院)の参加がありました。

当院では「心呼急」という名前で心肺蘇生チーム(BLSやICLSの教育)、呼吸サポートチーム(RST)、急変対応チーム(RRT)が活動を行っています。BLSの教育を1年間に約500人程度実施しています。また、院外活動として看護協会が行う心肺蘇生教育活動にも講師やインストラクターとして参加しています。

今回の参加の動機は普段心肺蘇生教育を行っている自分たちのスキルが全国でどの程

※1 BLS:1次救命措置 ※2 ICLS:心肺蘇生

度の位置にあるのか、正しい方法やスキルを自分たちが充分習得しているのかを試すために参加しました。

優勝を機に当院スタッフへのBLS教育に自信を持ち、引き続き院内蘇生教育の質の向上に努めていきます。



QCPRキャラバンの実施の様子

県立広島病院からのお知らせ

緩和ケアターミナルケアヘルパー・介護員研修

開催日 平成27年 8月11日(火)・12日(水)の2日間
時間 9:00~16:30
場所 新東棟2階 総合研修室
申込期間 平成27年 7月7日(火)~7月21日(火)必着
参加費 3,000円(資料代)
対象 次の要件を満たす者
①県内の介護保険指定事業所・介護保険施設に所属している介護福祉及び2級以上のヘルパー・介護員
②全課程(2日間)をすべて出席できる者

緩和ケア 介護支援専門員・地域連携職種研修

開催日 平成27年 9月9日(水)・9月14日(月)の2日間
時間 9:00~16:30
場所 新東棟2階 総合研修室
申込期間 平成27年 7月27日(月)~8月12日(水)必着
参加費 5,000円(資料代)
対象 次の①②③のいずれかと④の要件を満たす者
①平成16年度から平成23年度に緩和支援センターで開催した福祉関係者研修、地域連携研修、コーディネーター研修修了者
②平成24年度コーディネーター研修(初級コース)の修了者
③平成25、26、27年度介護支援専門員・地域連携職種研修(基礎コース)の修了者
④全課程(2日間)をすべて出席できる者

問合せ先 広島県緩和ケア支援センター 緩和ケア支援室

※詳細は『広島がんネット』ホームページでご確認下さい。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

KBネット

現在の参加医療機関 (6月15日現在)

202 機関

問合せ先 地域連携センター
電話(082)252-6228(直通)

— サルの尻 —

先日久しぶりに下痢ピッピーになりました。ありゃま、またウンチの話かと思われるかもしれませんが、その通りです。ウンチの話はやめようと思いつつもこのように原稿を書いてしまうのは、私が消化器外科医だからかもしれません。

突如として私の腸が反乱を起こしたのです。その原因は、はっきりしています。妻が年老いた実家の父母の世話をするために我が家を留守にした2日間の暴飲暴食です。普段は塩分、刺激物、脂肪分がコントロールされた妻の作る野菜中心の食事に、慣れていた胃腸が悲鳴を上げたのです。昔から甘いものが苦手で辛いもの好きの私の胃腸にとって、この2日間はチャンスだったのです。近くのスーパーに買い物に行き、ここぞとばかりに辛いつけ麺と食べるラー油を買い込んで、辛いつけ麺をおかず炊きたてごはんに入れて食べるラー油をかけて食べたのです。もう憧れの最高ランチです。そして夜は流川へ…。

午前様で帰宅し、さあ寝ようと思ったら差し込むような腹痛が襲ってきたのです。まあ当たり前と言えば当たり前です。その後の苦闘は品のある文章にはできません。さらに悪いことに我が家のウォシュレットが故障中、お尻を拭くたびにヒリヒリ、鏡で見ることはしませんでした。おそろくサルの尻状態だったでしょう。この時ふと疑問に思った事は、サルはなぜお尻が痛くないのか？とトイレに座って真面目に考えていました。たぶん酔っていたのでしょう。

下痢になって、お尻が赤くただれて痛くなるのはなぜなのか？トイレットペーパーで何度もお尻を拭くからただれる？いやウォシュレットで洗って乾燥してもただれる。ではなぜ？下痢はアルカリ性の腸液だから、出口の肛門の皮膚がただれる。元々皮膚は弱酸性、アルカリ性の腸液は皮膚の蛋白質を溶かすからただれる。そし

て唐辛子のカプサイシンが、ただれた皮膚を刺激する。サルの尻が赤いのは別にただれているわけではない、それどころか顔も赤い、とここまで考えて酔いは覚めてしまいましたが、やっと眠りにつきました。しかし、ここまでひどい下痢ピッピーは約25年ぶりです。その25年前とは学会で中国の重慶に行ったときです。重慶と言えば四川省、四川省と言えば火鍋。とにかく本場の火鍋はハンパではありません。鍋の中は真っ赤で別府の地獄湯のようにポコポコと、顔を近づけただけで咳がでます。この鍋に串刺しになった何かの肉を浸け込むこと数分、それを口にした瞬間から口が痺れて、お尻がムズムズするほどの辛さでした。おそろくその辛さは広島で食べる火鍋の数十倍辛かったと記憶しています。当然その夜から腹痛、下痢と肛門痛に苦しみ、3日間で3kg痩せることができました。一緒に行った後輩はこれらの症状プラス咳のために、その夜は一睡もできなかったそうです。まあ今思い出せば、カプサイシンは体に良いのですが、ほどほどにしないと胃腸と肛門、さらに人によっては肺にも悪いということに改めて認識しました。

しかし人間は懲りないもので、あれだけ苦しんだにもかかわらず時々唐辛子、カプサイシンが欲しくなるのです。そういえば食べるラー油がまだ残っているはずだ、ご飯にかけて食べようと冷蔵庫を探しましたが見つかりません。おそろく妻がどこかに隠しているのだと思います。またスーパーに行って買ってこなければなりません。

副院長(消化器・乳癌・移植外科主任部長)
板本 敏行(いたもととしゆき)



病院ボランティアさん表彰式

当院では患者さんやご家族の方に対して、医療者とボランティアさんが協力して、きめ細かなサポートができるように多くのボランティアの方々が活動をされています。鈴木さんは今日まで13年間の永きに渡り、当院の病院ボランティア活動に従事されました。その活動に敬意を表し、院長から感謝状を贈呈いたしました。



鈴木さんは左から2番目

活躍しています!!

入院サポートナース

地域連携センター



入院サポートナース

患者さんは入院が決まると、「どんな感じで入院生活を過ごすことになるのだろう」と不安になると思います。

そこで入院前に、必要な情報(アレルギーや既往歴など)を確認させていただきながら、入院中の療養について説明し、退院について不安なことがあれば相談できるよう看護師を配置しています。例えば、手術をしてどのくらい動ける状態で家に帰るのか。家族の援助がどれくらい必要になるのか、などについてイメージができるように説明をします。必要に応じて介護保険、高額療養費などの経済的な説明もさせていただきます。

入院サポートナースが入院に対しての戸惑いを、出来るだけ少なくするお手伝いさせていただきます。



入院説明の様子

入院サポートシステム



県病の星 慢性心不全看護認定看護師

慢性心不全看護認定看護師は、慢性心不全を抱える患者さんに対して、心不全憎悪の回避や予防のケアを行うのが主な役割です。

入院中は日々、心不全の患者さんの症状を評価し、観察したうえで身体の回復や悪化予防のためのケア、生活習慣の改善を行い、自己管理できる力を高めていきます。そして最終的には、患者さんが退院して心不全が悪化しないよう自己管理していくことが重要になってきます。そのため、患者さんの自らの服薬、食事管理や感染予防などが不可欠になってきます。慢性心不全看護認定看護師は、心不全の患者さんに多職種と協働しながら、患者さん個々の状況や退院後の生活環境に応じ、患者さんと一緒に考え実施可能かつ具体的なセルフケア行動を指導し、在宅でも安心して生活を送る事ができるよう支援していきます。

慢性心不全看護認定看護師として患者さんに関わる事で「いいことを聞いた」、「家で長く、楽しく生活ができる」と、患者さんに思ってもらえるような看護を提供していきたいと思ひます。



岡元看護師